

第71回

日本太鼓全国講習会



阿蘇山火山口

期 日 2024年2月24日（土）・25日（日）

会 場 熊本県宇城市 小川総合文化センター・ラポート

主 催 

主 管 全九州太鼓連合、日本太鼓財団熊本県支部

後 援 文化庁、熊本県、熊本県教育委員会、宇城市、宇城市教育委員会、日本財団



公益財団法人 日本太鼓財団

理事長 大澤 和彦

「令和6年能登半島地震」によって、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

本日は、第71回日本太鼓全国講習会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

当財団は現在46支部（42都道府県）を設け、加盟団体数約650団体、会員総数約17,500人を数えております。また、これまでジュニアコンクールをはじめとするコンクール事業や、日本太鼓ジャンボリーなどの演奏会事業を開催しました。さらに、技能向上を推進するための全国講習会による資格認定事業など、国内での普及活動はもとより、47ヶ国に及ぶ世界の国々で太鼓を通じた国際交流を実施してまいりました。

この講習会は日本太鼓の指導者育成と技術の向上を目的として行われており、現在公認指導員222人（海外20人）、技術認定員13,070人（海外2,440人）が講習会で学んだことを活かして各地で活躍されています。本日、参加される皆さまには、公認指導員の資格を持つ素晴らしい講師の指導のもと、技術を習得するだけでなく、太鼓の歴史や礼節も学んでいただきたいと思います。さらに、全国の仲間と交流を図り、思い出に残る講習会になりますことを期待しております。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びポートレース関係者、また本講習会にご支援ご協力をいただきました文化庁、熊本県、熊本県教育委員会、宇城市、宇城市教育委員会をはじめ、ご指導いただきます講師の先生方、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の全九州太鼓連合、日本太鼓財団熊本県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。



全九州太鼓連合

名誉最高顧問

長谷川

ただし
義

まず初めに、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に慎んでお見舞い申し上げます。

発災から2カ月近く経った今も道路や水道などのインフラが復旧せず、避難生活を余儀なくされている方々も多くいらっしゃいますが、復旧・復興に向けて着実に前進していることと思います。私たち全九州太鼓連合も日本太鼓財団と共にいち早く行動を起こし支援に取り組み、今後も息の長い支援ができるよう考えているところです。今の苦しい時期を乗り越えれば、必ず明るい未来があることを信じて、前へ進んでいただきたいと思います。

さて、第71回目を迎えた日本太鼓全国講習会が、熊本県宇城市において開催されますことは、九州7県の会員一同、大変喜ばしく、また光栄に存じます。

和太鼓には、古くから継承されている伝統的な太鼓と新しく結成され独自のスタイルで演奏する創作太鼓があります。伝統的な太鼓には、その地域の歴史的背景やリズムなどに意味があり、とても奥深く代々受け継がれてきたものです。また、創作太鼓は、音楽的なリズムや打法・演出など自由で多彩な表現によって観る者を楽しませてくれます。太鼓を始めたばかりの団体は、それを真似て演奏している場面をよく見かけます。

真似ることは悪いことではありませんが、外見だけを真似るのではなく、打ち方の基本や、その表現にある背景や意味などについても理解し、習得したうえで独自のスタイルを確立していくことが大切です。

そういった意味でも、今回の全国講習会は、特に意義のあるものであり、受講生の皆様にとっては、実り多い収穫のある講習会になることでしょう。

最後になりますが、本講習会の開催にあたり、ご支援をいただきました文化庁、熊本県、宇城市など、多くの関係団体の皆様に心より御礼申し上げます。

また、遠く九州の地にご足労いただきました講師の先生方に対しまして、心より感謝申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



日本太鼓財団 熊本県支部

支部長 鬼塚 栄男

まず初めに、2024年1月1日に発生しました、能登半島地震の被災者の皆さま方に心よりお見舞い申し上げます。

この度は「第71回日本太鼓全国講習会」が熊本県宇城市で開催されることに感謝申し上げます、参加される全ての皆さま方を、熊本県支部を代表して歓迎いたします。当支部は、ジュニアコンクール県予選に毎年30を超える団体が参加する程、和太鼓が盛んな地域であります。そんな当支部での全国講習会開催は2019年以来5年ぶりとなります。

この全国講習会では、たくさんの学びを得られる場となります。日本各地より素晴らしい講師の先生方にお越しいただいて、太鼓の成り立ち・打法等教えていただきます。受講生の皆さまにおかれましては、技術の向上はもちろんのこと、講師の皆さまの太鼓に対する心構えも学んでいただけますと幸いです。また、大切な目的のひとつとして、受講生同士の親睦を深めることがあります。この2日間たくさんの友達を作ってください。そして、思う存分楽しんでください。ここに集まった人々は皆「太鼓が好き」という同じ気持ちがあるため、きっと熱い友情を育むことができるでしょう。そこで得た絆を全国の太鼓仲間として、日本太鼓文化の更なる発展に寄与いただけますと幸甚でございます。

最後になりましたが、本講習会の開催にあたり、ご指導される講師の先生方、公益財団法人日本太鼓財団、全九州太鼓連合のスタッフの皆さまに、心よりお礼を申し上げます。

第71回日本太鼓全国講習会 概要

1. 目的 日本太鼓の技術向上と指導者を育成することにより、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的として実施します。
2. 開催日時 2024年 2月 24日(土) 11:00(受付開始 9:30)
25日(日) 11:30 講習終了
* 専門講座を受講された方は、講話(長谷川義氏)を12:40より受講後、13:40頃の解散となります。
なお、技術認定のための検定試験は日曜の12:45より実施します。
3. 講習会場 小川総合文化センター・ラポート(熊本県宇城市)
4. 主催 公益財団法人 日本太鼓財団
5. 主管 全九州太鼓連合、日本太鼓財団熊本県支部
6. 後援 文化庁、熊本県、熊本県教育委員会、宇城市、宇城市教育委員会、日本財団
7. 講習内容
 - (1) 総合指導 古屋 邦 夫 氏(財団技術委員長)
 - (2) 基本講座 3級基本講座 野 方 嘉 孝 氏(佐賀県)
4級基本講座 高 島 奈 々 氏(岐阜県)
5級基本講座(初心者講座) 松 枝 明 美 氏(長野県)
 - (3) 専門講座 単式単打法講座(大太鼓) 岩 切 響 一 氏(橘太鼓「響座」・宮崎県)
複式単打法講座 今 泉 豊 氏(助六太鼓・東京都)
複式複打法講座 長谷川 義 氏(豊の国ゆふいん源流太鼓・大分県)
専門講座講話 長谷川 義 氏(日本太鼓財団会長)
8. 公認指導員昇級試験
本講習会において公認指導員の昇級試験として講習内検定を実施します。
9. 受講者数 約200名
10. 受講に際して
 - (1) 講座は、途中で変更することは出来ません。
 - (2) 講習途中の出入り、見学等は出来ません。
 - (3) 受講中は、休憩時間を除き喫煙、飲食等を禁止します。
 - (4) 受講時の太鼓等の移動は、受講者が積極的に行ってください。
 - (5) 受講者は、運動着、運動靴、筆記用具、バチを持参してください。
なお、各基本講座の受講者は次の指定バチをそれぞれ1組持参してください。
カシバチ 太さ 7.5分~8.0分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
太さ 6.0分~6.5分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
* 専門講座については開催要項をご参照下さい。
 - (6) 会場内で、太鼓関係物品の展示及び販売もいたしますので、ご利用下さい。

11. 生活上の心得

- (1) 団体生活においては、秩序と礼儀、協力と責任が基本条件になることを十分に認識して自分の行動を律して下さい。
- (2) 講師や受講生と積極的に語り合い、交流の輪を広げることが講習会の成果を大きく左右します。
- (3) 金銭等の貴重品は必ず身につけて下さい。
- (4) 事故等が発生したら直ちに本部に連絡して下さい。
- (5) 宿泊のマナーには十分気をつけて下さい。
万一の場合に備えて避難口を確認して下さい。室内の整理整頓に心がけて下さい。
- (6) 健康には留意し、特に睡眠時間を十分にとるようにして下さい。
万一体調をくずした場合は早めにお申し出下さい。

12. 講習曲使用について

講習会において使用した曲を講習会以後に演奏したい場合は、財団事務局までお問合せ下さい。

13. 技術検定 <受検希望者は、下記項目をご確認下さい。>

(1) 受検資格並びに方法

○1級技術検定

2級技術認定員のみ受検できます。打法の異なる専門講座に3回合格する必要があります。
専門講座のうち1つを受講して下さい。
なお、最終検定を受ける方は、論文（1,400～1,600字程度・テーマは日本太鼓の効用に関する内容）の提出が必要です。

○2級技術検定

3級技術認定員のみ受検できます。打法の異なる専門講座に2回合格する必要があります。
専門講座のうち1つを受講して下さい。
なお、最終検定を受ける方は、論文（600～800字程度・テーマは日本太鼓に関する内容であれば自由）の提出が必要です。

* 1・2級技術検定において全打法（単式単打・単式複打・複式単打・複式複打）の専門講座を受講する必要があります。

* 1・2級最終検定の論文は、400字詰め原稿用紙を使用して下さい。（パソコンで作成の場合、マス目付き原稿用紙に設定して下さい。）

○3級技術検定 4級技術認定員のみ受検できます。

○4級技術検定 5級技術認定員のみ受検できます。

○5級技術検定 10歳以上であれば初心者を含めどなたでも受検できます。

（2024年4月1日までに10歳を迎える方も含みます。）

(2) 技術検定料は一律2,000円、講習内検定料は一律5,000円です。

(3) 認定料は、合格者に限りその場で必要となります。

1級認定料 20,000円、 2級認定料 10,000円、 3級認定料 8,000円、

4級認定料 5,000円、 5級認定料 3,000円

(4) 検定試験の際は必ず各講座の指定バチをご使用下さい。

(5) 直接検定試験を受ける方は、受付で受検方法を確認して下さい。

(6) 基本講座は「日本太鼓教本」が1人1冊必要となります。お持ちでない方は、受付でお求め下さい。

第71回日本太鼓全国講習会・日程表

第1日目 2024年2月24日(土)

時 間	進 行	小川総合文化センターレポート	備考
9:30	受付開始 受付次第、更衣室で着替えを済ませ、待機して下さい。 私物は個人で管理して下さい。		
	*男子更衣室:		
	*女子更衣室:		
9:40	*講習内検定者打合せ会(基本講座講師・講習内検定参加者)		
11:00	開会式 国歌斉唱 あいさつ (公財)日本太鼓財団 長谷川 義 会長 日本太鼓財団熊本県支部 鬼塚 栄男 支部長 来賓・役員・講師紹介 閉会の辞		
11:30	講師模範演奏 オリエンテーション 記念写真(講座別) *各会場へ移動		
12:00	昼食・休憩		
12:30	総合指導 講師:古 屋 邦 夫 氏		
	3級基本講座 講師:野 方 嘉 孝 氏		
	4級基本講座 講師:高 島 奈 々 氏		
	5級基本講座 講師:松 枝 明 美 氏		
	単式単打法講座(大太鼓) 講師:岩 切 響 一 氏		
	複式単打法講座 講師:今 泉 豊 氏		
	複式複打法講座 講師:長谷川 義 氏		
18:00	講習終了 講習内検定反省会:		
備考	宿舎では、マナーを守って生活して下さい。		

第2日目 2024年2月25日(日)

時間	進行	小川総合文化センターラポート	備考
8:15	朝の集い(体操用に運動着を着用のこと) *荷物は各講習会場に持参		各会場
8:30	総合指導 講師:古屋邦夫氏		
	3級基本講座 講師:野方嘉孝氏		
	4級基本講座 講師:高島奈々氏		
	5級基本講座 講師:松枝明美氏		
	単式単打法講座(大太鼓) 講師:岩切響一氏		
	複式単打法講座 講師:今泉豊氏		
	複式複打法講座 講師:長谷川義氏		
10:30	講習終了 成果発表会準備		移動・準備
10:45	各講座成果発表会(1・2級技術検定試験)		
11:15	閉講式 あいさつ (公財)日本太鼓財団 日本太鼓財団熊本県支部		
11:30	昼食・休憩		
12:30	専門講座成績発表		
12:40	専門講座講話 講師:長谷川義氏		

<以降、検定受検者のみ>

12:40	検定試験説明		
12:45	検定試験(筆記) 5級→3級→4級 終了次第、実技試験を受検		
	検定試験(実技) 4級→3級→5級 終了次第、学科試験を受検 待機場所:		
14:30 (予定)	成績発表 (全員) *合格者は手続き終了後解散		
15:00 (予定)	終了		

講師プロフィール



総合指導

講師 古屋 邦夫

御諏訪太鼓保存会（長野県）会長
（公財）日本太鼓財団技術委員会委員長
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
中日本太鼓連合 会長

- 1948年 長野県に生まれる。
- 1967年6月 御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓歴57年を数える。
- 1970年 小口氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟（現・長野県太鼓連盟）の発足に携わる。
- 1978年10月 長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月 長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行った。
- 1998年4月 財団法人日本太鼓連盟（現・公益財団法人日本太鼓財団、以下同）技術委員長に就任。
- 2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国（リトアニア、ラトビア、エストニア）におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月 長野県支部支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。
- 2019年3月 中日本太鼓連合会長に就任。



基本講座

「3級基本講座」

講師 野方 嘉孝

大和太鼓保存会（佐賀県）代表
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
全九州太鼓連合 理事長
佐賀県太鼓連合 名誉会長

この講座は、3級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1953年 佐賀県に生まれる。
- 1989年 佐賀県大和町街おこし事業の一環で大和太鼓保存会を結成。
創立メンバーにて1998年4月会長に就任。
- 2010年1月～2022年3月 佐賀県太鼓連合会長を務める。
（2010年3月 佐賀県太鼓連盟を吸収合併）
- 2012年5月 全九州太鼓連合副会長に就任。
- 2012年8月 公益財団法人日本太鼓財団1級公認指導員に昇級。
- 2016年12月 第13回日本太鼓シニアコンクールにて名人位（文部科学大臣賞）を獲得。
- 2022年4月 佐賀県太鼓連合名誉会長に就任。
- 2022年5月 全九州太鼓連合理事長に就任。

講師プロフィール



基本講座

「4級基本講座」

講師 高島 奈々

岐阜神代響太鼓（岐阜県）代表
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団岐阜県支部 事務局長

この講座は、4級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 岐阜県に生まれる。
- 1994年 岐阜市地元保存会に加入し太鼓をはじめ。翌年、奥州猿羽流 宗家龍 連山氏を師事とし大太鼓道を習得。その後、組太鼓を御諏訪太鼓保存会宗家故・小口大八氏と古屋邦夫氏に、盆太鼓を助六太鼓家元今泉豊氏に師事。全日本太鼓連盟（現・公益財団法人日本太鼓財団）の講習会に積極的に参加。
- 1998年 長野冬季五輪閉会式の出演を機に故・小口氏より「岐阜神代響太鼓」と名をいただき姉妹で太鼓活動を始める。
- 2003年4月 日本太鼓財団岐阜県支部・岐阜県太鼓連盟理事就任。
- 2006年7月 公益財団法人日本太鼓財団1級公認指導員に昇級。（5級技術認定員より昇級したのは日本太鼓資格認定制度開始以来初）
- 2019年4月 日本太鼓財団岐阜県支部・岐阜県太鼓連盟事務局長就任。



基本講座

「5級基本講座」

講師 松枝 明美

和太鼓すわびと（長野県）代表
（公財）日本太鼓財団技術委員会技術委員
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員

この講座は、5級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 長野県に生まれる。
- 1980年3月 御諏訪太鼓に入門、宗家である小口大八氏に師事、以来今年で太鼓歴44年を数える。
- 福島県の指導を皮切りに県内外チームの指導に努め、すでに100チームを越える。また、海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月 長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行う。
- 2007年3月 ブラジル訪問。移民100周年記念1,000人太鼓の合同曲及び太鼓講習会で指導を行う。2020年2月には2回目のブラジル訪問。ブラジル太鼓講習会で講師を務める。
- 2007年12月 台湾にて「第1回全台湾太鼓講習会」開催に伴い講師として訪問。以来毎年講師を務め指導に携わる。
- 2008年10月～2020年3月 長野県支部事務局長、御諏訪太鼓保存会副会長を歴任。
- 2020年4月 和太鼓すわびとを立ち上げる。
- 2020年6月 公益財団法人日本太鼓財団技術委員に就任。

講師プロフィール



専門講座

単式単打法講座（大太鼓）

講師 岩 切 響 一

橘太鼓「響座」（宮崎県）代表
（公財）日本太鼓財団 3 級公認指導員

- 1992 年 宮崎県に生まれる。2 歳よりバチを握り、父からもらった太鼓を遊び道具とし、幼い頃よりリズムを身につけ、小学校 4 年生から橘太鼓「響座」のメンバーとしての活動を開始する。
- 2007 年 第 10 回日本太鼓ジュニアコンクールにて橘太鼓「響座」ジュニアのメンバーとして初優勝。
- 2009 年 第 12 回日本太鼓ジュニアコンクールにて 2 度目優勝を果たす。
- 2012 年 太鼓奏者としてソロ活動開始するとともに、ジュニアチームの育成・指導にも携わる。
- 2019 年 3 月 公益財団法人日本太鼓財団 3 級公認指導員に昇級。
- 2021 年・2023 年 日本太鼓ジュニアコンクールにて橘太鼓「響座」ジュニアの作曲・指導を手掛け 2 度優勝に導く。



専門講座

複式単打法講座

講師 今 泉 豊

助六太鼓（東京都）代表
（公財）日本太鼓財団 1 級公認指導員

- 1952 年 東京都文京区生まれ。小学生の頃より祭り太鼓に興味を覚え盆太鼓を始める。
- 1965 年 浅草国際劇場（松竹歌劇団）の鳴り物師、杵屋佐三造先生に邦楽器演奏の指導を受ける。日本初のプロ和太鼓として確立しつつあった助六太鼓の活動に参加するとともに、湯島天神助六太鼓保存会（現・助六太鼓保存会）を発足する。
- 1974 年 国立劇場「日本の太鼓」第 1 回目に「助六太鼓」として出演、翌年から 5 年間、「鼓韻の会」として出演する。
- 1976 年 小口大八氏（長野県・御諏訪太鼓保存会）、池田庄作氏（石川県・御陣乗太鼓保存会）らとともに、現在の「公益財団法人日本太鼓財団」の前身である「全日本太鼓連盟」を設立する。
- 1998 年 4 月～ 2020 年 3 月 財団法人日本太鼓連盟運営委員（現・公益財団法人日本太鼓財団）を務める。

講師プロフィール



専門講座

複式複打法講座・専門講座講話

講師 長谷川 ただし 義

豊の国ゆふいん源流太鼓（大分県）創始者
（公財）日本太鼓財団 会長
（公財）日本太鼓財団 1 級公認指導員
全九州太鼓連合 名誉最高顧問

- 1951 年 大分県湯布院町に生まれる。
- 1979 年 長い歴史の中を名も無く、営々と打ち伝えられてきた由布院のリズムを現代に引き継ごうと「豊の国ゆふいん源流太鼓」を設立。
- 1993 年 全九州太鼓連合発足、最高名誉顧問として現在に至る。
- 1998 年～2008 年 財団法人日本太鼓連盟（現・公益財団法人日本太鼓財団、以下同）理事を務める。
- 2007 年 「豊の国ゆふいん源流太鼓」が由布市の無形文化財に指定される。
- 2008 年～2022 年 財団法人日本太鼓連盟 副会長を務める。
- 2011 年 第 8 回日本太鼓シニアコンクール名人位・文部科学大臣賞受賞。
- 2021 年 第 18 回日本太鼓シニアコンクール名人位・内閣総理大臣賞受賞。
- 2022 年 公益財団法人日本太鼓財団会長に就任。

日本太鼓資格認定制度

本制度は、公益財団法人日本太鼓財団の寄付行為及び日本太鼓資格認定規程並びに日本太鼓資格認定規程細則で詳しく定めている。

主な内容は次のとおりである。

1. 本制度は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」の2つに区分される。
2. 公認指導員は、次の4つに区分され、それぞれ資格を有する。
 - (1) 特別公認指導員は、当財団が特に認めた者で、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員としての資格を有する。
 - (2) 1級公認指導員は、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員の資格を有する。
 - (3) 2級公認指導員は、当財団及び支部が主催する全ての講習会における基本打法担当講師、検定員としての資格を有する。
 - (4) 3級公認指導員は、支部が主催する講習会における基本打法担当講師としての資格を有する。
3. 技術認定員は、次の5つに区分される。
 - (1) 1級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確かつ優秀である者をいう。
 - (2) 2級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確である者をいう。
 - (3) 3級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得し、かつその演奏が優秀である者をいう。
 - (4) 4級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得した者をいう。
 - (5) 5級技術認定員は、基本打法の基礎を習得した者をいう。
4. 認定試験の受験資格は、次のとおりである。
 - (1) 1級公認指導員は、現に2級公認指導員であり、30歳以上の年齢に達した者。
 - (2) 2級公認指導員は、現に3級公認指導員であり、20歳以上の年齢に達した者。
 - (3) 3級公認指導員は、現に1級技術認定員であり、20歳以上の年齢に達した者。
 - (4) 1級技術認定員は、現に2級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (5) 2級技術認定員は、現に3級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (6) 3級技術認定員は、現に4級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (7) 4級技術認定員は、現に5級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (8) 5級技術認定員は、10歳以上の年齢に達した者。

2023年度の主な事業活動

◇日本太鼓ジャンボリー 2023（終了）

期 日：2023年5月27日（土）
場 所：文京シビックホール大ホール（東京都文京区）
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：11団体

◇第8回大学太鼓フェスティバル（終了）

期 日：2023年8月25日（金）
場 所：文京シビックホール大ホール（東京都文京区）
共 催：大学太鼓連盟
出演団体：12団体

◇第25回日本太鼓全国障害者大会（終了）

期 日：2023年10月1日（日）
場 所：文京シビックホール大ホール（東京都文京区）
共 催：社会福祉法人 富岳会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出場団体：21団体

◇第38回国民文化祭

第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭 2023「太鼓の祭典」（終了）

期 日：2023年10月15日（日）
場 所：金沢歌劇座（石川県金沢市）
主 催：文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、
金沢市教育委員会、いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会、
いしかわ百万石文化祭 2023 金沢市実行委員会、公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団石川県支部、公益社団法人 石川県太鼓連盟
出演団体：38団体

◇第20回日本太鼓シニアコンクール（終了）

期 日：2023年11月19日（日）
場 所：輪島市文化会館（石川県輪島市）
主 催：2023 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、公益財団法人 日本太鼓財団、
公益社団法人 石川県太鼓連盟、一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：35組

◇第26回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2024年3月24日（日）
場 所：大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市）
主 管：日本太鼓財団埼玉県支部
出場団体：46団体

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4 月 1 日

<資 産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 46支部 (42都道府県)

<加盟団体数> 約650団体

<会 員 総 数> 約17,500人

<役 員> 会 長 長谷川 義 全九州太鼓連合名誉最高顧問
理 事 長 大澤 和彦 常 勤
副 会 長 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表
常務理事 佐々城 清 常 勤
理 事 浅野 昭利 (一財) 浅野太鼓文化研究所理事長
理 事 石井 幹子 (株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役社長
理 事 中西 由郎 元 (一財) 日本モーターボート競走会監事
理 事 山内 強嗣 (福) 富岳会理事長

<評 議 員> 評 議 員 岩切 邦光 全九州太鼓連合会長
評 議 員 岡田 知之 元 (公社) 日本吹奏楽指導者協会会長
評 議 員 河合 睦夫 越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評 議 員 佐藤 淳子 元 (一財) ライフ・プランニング・センター理事
評 議 員 高島 肇久 (学) 津田塾大学理事
評 議 員 古屋 邦夫 御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長
評 議 員 宮崎 義政 銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長

<監 事> 監 事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所

(五十音順・敬称略)

講習会開催予定一覧

日本太鼓全国講習会（財団主催）

◇第72回日本太鼓全国講習会

期 日 調整中

開催地 調整中

◇第73回日本太鼓全国講習会

期 日 2025年2月頃

開催地 鹿児島県

*各講習会のお問い合わせは、(公財)日本太鼓財団公式サイトまたは財団事務局
(Tel. 03-6205-4377) までお問い合わせください。

公認指導員・技術認定員の現在数

(2024年2月現在)

区分 級	公認指導員	技術認定員
1級	42名	218名
2級	29名	442名
3級	151名	1,499名
4級	—	2,687名
5級	—	8,224名
計	222名	13,070名



日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomom 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp